

新札幌循環器病院広報誌

vol. **86**
2021.spring

サンプラザ

<https://sshoc.jp>

- 理事長・新任ドクターのあいさつ
- 新型コロナウイルス感染予防に伴うお願い
- 再来受付機導入のお知らせ
- 診療科のご紹介 ● 健康体操



理事長・院長 ご挨拶

理事長・院長／馬場 雅人



新年度を迎えました。私たちの社会生活にとっては大きな節目です。

しかしもちろん科学的には時間の節目などと言うものはなく、ただの一瞬一瞬の連続です。現に昨年
から私たちの生活を暗く覆ってきた新型コロナウイルスは、年が変わり年度が新しくなったからと
言って、いまだに手ごわい相手であることに変わりはありません。心行くまで春を楽しむところまで
いかないというのが正直なところでしょう。ただ、去年の春と大きく違うのは、多くの人々の努力により、
ウイルスの研究が進み、ワクチンが実用化されるなど、防ぎ方戦い方が少なくともあるのだという
思いを持てるようになってきていることです。

2020年は人類がもっとも手洗いをした一年とも言われています。昨年秋には新型コロナとイン
フルエンザの同時流行も懸念されていましたが、先月の厚労省のとりまとめによると実際には
インフルエンザ発症はほぼ例年（過去5年）の0.1%とのことです。これは感染症予防への
高い意識によるものとされており、一般の方々の新しい生活習慣が自らを助けるべく大きな力に
なったと言えます。そこに、さらに私たちは医療者として皆さんに何ができるのかを改めて考えます。
奇しくもこの原稿を書いている今日はあの東日本大震災から10年目に当たる3月11日です。被災
した方々の悲しみには10年という区切りは何の意味も持たないかもしれないとは思いながらも、
テレビ等のニュースに触れて思い出したことがあります。

当時震災から間もなく、当院も被災地から避難されてきた2人の透析患者さんをお引き受けいた
しました。その後被災地の医療体制が落ち着き、患者さんたちを無事にお返しできた時に私が
気づいたことは、彼の地で被災者に直接の援助が何もできない心苦しさをもちながら、せめて
この地で自分の職務を全うすることによりささやかでも何かのお役に立てたと思わせていた
だいたということです。

昨年からの心塞がるようなこの状況においても私たちがすることは、平時以上に感染症対策を
行いながら、患者さんたちに安心して本来の治療を受けて頂くことです。これからも当院の本分
である循環器治療、透析治療に全力を尽くし、皆さまが再びご家族御友人達と心置きなく親しい
時間を持てる日々へのお手伝いをさせていただきたいと思っております。本年度もよろしく願
い申し上げます。

新任ドクターご挨拶

心臓血管外科主任医長／原田 亮(はらだりょう)



2003年 札幌医科大学医学部卒業。

- ・日本外科学会専門医
- ・日本心臓血管外科学会専門医

初めまして。令和3年4月1日より赴任致しました原田亮と申します。この場をお借りしご挨拶申し上げます。

私は平成15年に札幌医科大学を卒業(50期)、旧第二外科(現心臓血管外科、呼吸器外科)に入局し、以後北海道内の関連施設で研鑽を積み本年度より赴任致しました。前任の札幌医科大学では虚血性心疾患、弁膜症などの後天性心疾患を中心に診療にあたっていました。

みなさん心臓血管外科の手術とはどんなイメージをお持ちでしょうか。確かに小さな手術ではありません。なんで手術を受ける必要があるのか?お薬だけではダメなのか?一概に手術適応といっても、その疾患の重要性、治療の必要性、得られる効果、必要とされるリスクは患者さん個人の特徴や背景によって大小様々です。

私は一つ一つ丁寧に説明し患者さん、ご家族が納得して治療が受けられるよう医療を提供していく所存です。

また私が考える治療の1番の目的、それは手術の後、長い期間を元気に過ごしてもらうため、薬を飲んでいただけよりもずっと元気になってもらう、それが1番の目標であり目的です。それを達成するためには手術のクオリティはもちろん、その後のケアもとても重要と考えます。私はできる限り一緒にお手伝いしたい、外科治療が終わった後も何年もずっと一緒に診ていきます。新札幌循環器病院に来られる患者さんが安心して治療が受けられるよう、治療を任せられるように努力します。どうぞよろしくお願ひ致します。



当院における新型コロナウイルス感染予防対策に伴うお願い

全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大している中、当院の感染対策にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

当院では下記の取り組みを実施しておりますので、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。また、入院患者さま並びにご家族の皆様には、面会制限等の取り組みによりご不便をおかけしているところがございます。入院患者さまを守るための取り組みとなりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

今後とも更なる感染対策を講じる所存でございますので何卒宜しくお願い申し上げます。



院内感染管理者
副院長 清水 栄一



受付にビニールカーテンの設置



サーモカメラによる体温チェック



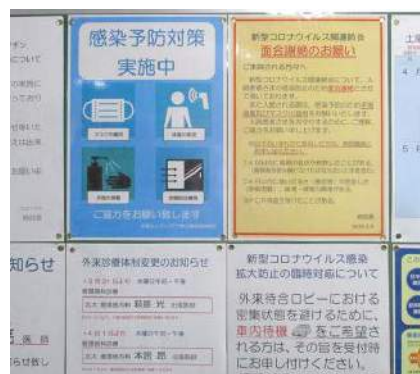
手指の消毒



加湿器



非接触式自動ドア



感染予防対策に関する案内表示

再来受付機導入のお知らせ

当院は、令和3年3月3日(水)より「再来受付機」を導入しました。

再来患者様は再来受付機にて受付お願いいたします。

【再来受付機ご利用時間】

月～金/8:00～16:30 土/8:00～11:30

【再来受付機の手順】

① 再来受付機に診察券を投入

② 画面の指示に従って受付

③ 受付後、診察券と受付票を受け取る

※ 受付票は会計時にご提示いただきますので大切に保管ください。

受付終了後、窓口より呼びしますので、保険証の準備や
血圧測定を済ませてロビーでお待ちください。



受付票取出口

診察券投入口

再来受付機をご利用 できない患者様

初診または久しぶりに受診される患者様、診察券をお忘れの患者様は再来受付機をご利用いただけません。外来受付窓口にて係員が受付をいたします。

ご来院される方々へ

- 感染予防のためマスクの着用及び来院時の手指消毒をお願いいたします。
- 外来待合室が狭く大変混雑することが多くっております。患者さまにはご迷惑をおかけしており、大変申し訳ございません。職員一同、患者様のご負担にならぬよう対応に努めているところでございますが、かかりつけ患者さまにつきましてはご予約時間や検査指定時間を目安にご来院いただきますよう、ご協力をお願いいたします。また、待ち時間についてはご自身の車でお待ちいただくことも可能ですのでご来院時に受付までお申し出ください。
- 正面玄関の開放時間を短縮しております。
開放時間外にご用件のある方は、病院正面にございますインターホンを押してください。
【正面玄関開放時間】
平日/8:00～17:00 土曜/8:00～12:30 日曜・祝日/常時施錠
- 正面玄関にてサーモカメラによりみなさまの体温チェックを行っております。
発熱者については、他の患者さまと交わらないように別室にご案内しております。
- 受付にビニールカーテンを設置しております。
- 1時間に5分程度換気を実施しております。温度管理には配慮しておりますが、温かい服装でご来院をお願いいたします。

診療科のご紹介

心臓血管外科

成人後天性心疾患、大血管疾患、末梢血管疾患、静脈疾患に対して手術療法を行っております。狭心症、心筋梗塞に対する冠動脈バイパス術では、ほぼすべての症例が人工心肺を使用しない心拍動下で行っております。一般的にはカテーテルを用いた経皮的冠動脈形成術が困難もしくは危険な症例に対し行われますが、弁膜症や大血管手術との同時手術で行われる場合もあります。

弁膜症に対しては、患者さんの病態、既往、基礎疾患などに応じて、弁置換術と弁形成術の術式を決定しております。

大血管疾患として急性大動脈解離や破裂など緊急手術を要する症例に対しては、昼夜問わず手術が行えるよう体制を整えております。近年目覚ましい進歩を遂げているステントグラフト内挿術においても当院では積極的

に行っております。

その他、末梢血管疾患である閉塞性動脈硬化症や急性動脈閉塞に対するバイパス術や血栓除去術、下肢静脈瘤に対する高周波治療なども行っております。



循環器内科

急性心筋梗塞、労作性狭心症のカテーテル治療（経皮的冠動脈形成術、PCI）を主に担当しています。以前は使用できなかったロータブレード（高度石灰化などの硬い病変を削るドリルのようなもの）も症例数が増えたため使用可能となりました。PCIは第2世代の薬剤溶出性ステントが使用できるようになってから再狭窄率が著明に減少し、以前は外科手術でしか治療できなかった左冠動脈主幹部病変の一部もPCIで治療可能になりました。足の血管が詰まっているため、歩くと足がすぐに痺れるあるいは痛みが生じ、休まなければ歩けなくなってしまう閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療（血管内治療、EVT）も積極的に行っております。最近不整脈もカテーテル治療（カテーテルアブレーション）が盛んですが、専門医を招聘し、対応しています。PCI、EVTなどの手技も大事ですが、日常生活の改善、リハビリ、投薬などによる動

脈硬化性疾患の進行予防も大切で、なるべく最新の知見を得るようにし、積極的に新しい考え方（血圧の目標値や抗血小板薬を中止する時期など）、新薬（脂質異常症に対するPCSK9阻害薬など）、新しいデバイス（糖尿病に対して持続血糖測定装置であるCGM、FGM）を導入し日常診療を行っています。



腎臓内科

近年、慢性腎臓病（CKD）が注目され、腎臓と心臓の関連などが明らかとなってきております。当院では循環器専門病院としての特性を生かし、循環器専門医と連携しCKDの合併症として最も重要な冠動脈疾患等の早期発見や治療、末期腎不全や透析患者さんの心不全の予防や適切な管理に心がけております。

腎臓内科では、健康診断における検尿異常から各種慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、急性・慢性腎不全および膠原病や糖尿病などの全身性疾患に伴う腎病変にいたるまで幅広く対応いたします。腎炎の治療にあたっては、必要に応じ腎組織検査（腎生検）を行い、適切な治療を選択いたします。また末期腎不全患者さんの保存

期治療や透析導入、維持血液透析に対応いたします。入院治療の必要な透析患者さんの治療にも対応いたしますので、お気軽にご相談下さい。



簡単! 1日 たったの 10分 椅子に座って健康体操

新型コロナウイルス感染防止のため自宅にいる人が多いことでしょう。じっとしていると体も頭も調子が狂いますよね。今回は自宅でも簡単に座ったままできる健康体操をご紹介します。

1種目30秒ずつ行い、3週しましょう! ※②と③は15秒で逆まわし

1 肩の上げ下げ
30秒

両肩を上にあげ ゆっくり下ろす

2 肩まわし
15秒 × 2回

15秒で逆回し

両手を肩にあて、肘で円を描くように回し、肩甲骨を動かす。反対回しも同様に。

3 腕まわし
15秒 × 2回

15秒で逆回し

両腕のばし、円を描くように回す。反対回しも同様に。

4 体幹ひねり
30秒

両手を胸の前で組み、左右に体をひねる。

5 肘・膝タッチ
30秒

片膝を上げ、反対側の肘にタッチ。

6 両足ばたばた
30秒

つま先を上に向け、両足をばたばたと動かす。

疲れたら休みながら、無理せず行いましょう!

病院のご案内

■診療科目

心臓血管外科・循環器内科・腎臓内科・
人工透析内科・胸部外科・リハビリテーション科

■専門外来

静脈瘤外来・禁煙外来・睡眠時無呼吸症候群

■診療受付時間

平日 8:45～11:30/13:30～16:30

土曜日 8:45～11:30

休診日 日曜・祝日・年末年始(12月30日～1月3日)

■病床数

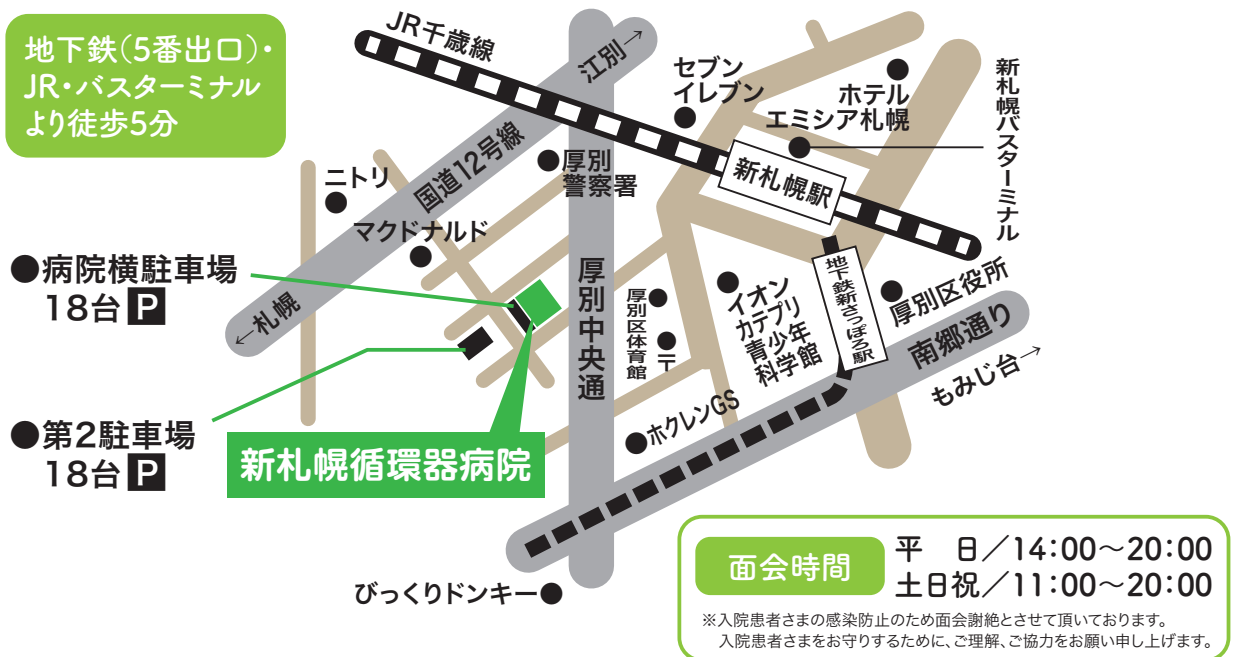
一般病床/99床(一般基91床 地域包括2・8床 透析22床)

■指定機関

けが(災害)救急告示病院・第二次救急指定病院・
札幌市ACSネットワーク参加病院・各種健康保険・
生活保護法・結核予防法・労働災害保険法・
身体障害者福祉法・更生医療・育成医療・
原子爆弾被害者に対する援護に関する法・
特定疾患委託機関

■施設認定

- 循環器専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 胸部ステントグラフト実施施設
- 腹部ステントグラフト実施施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- 一般社団法人National Clinical Database(NCD)参加施設
- 日本成人心臓血管外科手術データベース(JACVSD)参加施設
- 外科専門研修プログラム連携施設(札幌医科大学・防衛医科大学)



■駐車場

- 病院横/18台
- 第2駐車場/駐車場内No.18～35まで2列18台

※隣接する月極駐車場にはお停めにならないようご注意ください。 ※駐車場は台数が限られております。公共の交通機関をご利用ください。



医療法人 サンプラザ 新札幌循環器病院

〒004-0052

札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9-25

TEL 011-892-1556 FAX 011-894-5220

ホームページ <https://www.sshoc.jp>